

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

宜野湾市立博物館

1. 基本的な感染拡大予防対策

(1) 館職員への予防対策

- ① 職員の就業前の体温測定
- ② 職員の手指消毒の徹底
- ③ 職員のマスクの着用
- ④ 館入口および施設内に手指の消毒液を設置、液の補充確認

(2) 感染症防止のための観覧者整理の方法

① 密にならないための対策

- ・館内が混雑しないよう、必要に応じて入館制限を実施する。
- ・観覧者が並ぶ場合、2m程度の間隔を空けるよう、床にテープを貼り、誘導する。

② 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・発熱や咳、頭痛等の症状がある方については来館を控えてもらう。

③ その他

- ・団体見学は、予約申込みの際にマスク着用を推奨し、体調管理(具合の悪い場合は参加しない、させない)をお願いした上で受け付ける。
- ・団体客の来館時には、マスク着用を推奨し、消毒、手洗いを促し、観覧時にも三密にならないよう注意を促す。

(3) 対人距離の確保の方法

① 接触感染対策

- ・席は隣同士の間隔も可能な限り広くする。

② 飛沫感染対策

- ・カウンターで観覧者と対面となる場合、アクリル板つい立等で遮蔽する。

(4) 施設の換気対策

- ・常時、窓は2カ所以上開けておく。
- ・事務所等は、クーラー稼働時、定期的に窓を開けて、10分程度の換気を行う。

(5) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・複数の人が触れる場所は、適宜消毒を行う。特にテーブル、ドアノブ、ベンチ、常設展示室内のタブレット、パズルなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。
- ・館内の消毒は、1日2～3回のペースで実施する。ただし、観覧者の状況に応じて、

消毒回数を増やすなどして対応する。

(6) その他基本的な感染拡大予防策

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。
- ・マスクを脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗う。

2. 独自の感染予防対策

(1) 見学の対応

- ・団体見学の対応について、感染拡大の状況によっては、当館の利用をお断りする場合がありますことを伝えておく。
- ・団体客の来館時には、マスク着用を推奨し、消毒、手洗いを促し、観覧時にも三密にならないよう注意を促す。
- ・常設展示室内および企画展示室等が混雑しないよう、必要に応じて入場制限を設ける。

(2) 講座、教室等の開催

- ・室内講座では、受講者数を制限し、会場も椅子の間隔を空けるなど、対人距離を確保する。
- ・野外講座では、講座内容に応じて募集人数を制限し、バス等の車内においては座席を空ける等、対人距離を確保し、適宜、車窓を開けて換気を行う。
- ・講座室内の椅子やテーブルなどの消毒を行い、講座中は窓を開けて換気を行う。
- ・受講申込みの際にマスク持参、着用の推奨と、体調管理(具合の悪い場合は、参加しない、させない)をお願いする。
- ・受講受け付け時に、受講者に検温または、口頭での確認を行い、講座開始前や休憩時、帰宅前に手洗いや消毒をお願いする。
- ・講座室内の椅子やテーブルなどの消毒を行い、講座中は窓を開けて換気を行う。

(3) 図書室の利用

- ・図書室の利用に際しては、1テーブル2人までの利用とし、対面での着席は避け、隣同士の間隔も可能な限り広くするよう説明し、図書室へ案内する。
- ・利用時には、ドア、窓を開け、換気を行う。
- ・利用者多数の場合は、利用時間を設ける。

(4) その他

- ・上記(1)～(3)について博物館 HP、博物館玄関、受付窓口などに掲示し、来館者に理解を求める。